

学校だより



平沼

令和6年1月31日

横浜市立平沼小学校



Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranima/>

「ありがとう」からつながる心

副校長 小林 才子

寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じる季節となりました。2月は節分や立春といった、冬から春への移り変わりを感じる月です。また、年度の締めくくりが近づき、これまでお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝える機会が多くなる時期でもあります。

学校生活でも、子どもたちが「ありがとう」の気持ちを伝える場面を目にすることが増えていきます。学年やクラスの友達、異学年の友達が助けてくれたとき、学校をきれいに掃除してくださっている技術員さんの姿や給食を作ってくださっている調理員さんの姿を見たとき、先生が教えてくれたとき、さらにはお家の方や地域の方々が毎日支えてくれていることに気づいたとき。自然と子どもたちから出る素直な感謝の言葉は、周りの人の心を明るくし温かさや安心感を生み出しているように思います。先日、異学年交流がありました。1年生から6年生がグループを組み、協力し合いながら活動内容を決め、進めていきます。学年の枠を超えて、お互いに優しく声をかけている場面や、「ありがとう」と気持ちを伝える姿は、学校全体を温かい空気で包み込んでくれました。

日々の生活の中で、私たちは多くの人と言葉を交わします。その中で、たった一言の「ありがとう」や「おはよう」「こめんね」といった言葉が、相手の心を温め、人と人との距離を近づける力をもっていると感じる瞬間があります。短い一言の中に込められた思いやりや感謝の気持ちは、相手の心を温めるだけでなく、自分の心にも優しさを広げてくれるように感じます。「和顔愛語」という言葉があります。「和顔」は穏やかな表情、「愛語」は愛情のこもった言葉という意味があります。優しい穏やかな表情と思いやりのある振る舞いや言葉で人と接することで、心の温かい交流が生まれるという意味があります。「ありがとう」という言葉を口にするその瞬間には、きっと子どもも大人も和やかな表情になっているはずです。

保護者や地域の皆様、共育ネットの皆様、見まもり隊の皆様には子どもたちを見守り、支えていただき心より感謝申し上げます。皆さまの温かい言葉や励ましが、子どもたちの「ありがとう」を生み出し、それがさらによりよい人間関係を築く力になっています。

2月はまだ寒さが続きますが、言葉の力で心に春を迎えられる月にしていきたいと思います。今後とも、保護者や地域、共育ネット、見まもり隊の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。